

氏名 加藤 博孝

所属 岩手県立磐井病院

役職 総合診療科長（医療局理事）

これまでのキャリア

東北大学医学部	1974.4～1980.3（卒業）
青森県立中央病院研修医	1980.5.26～1982.3.31
東北大学第二外科に入局、大学および関連病院でキャリアを積む。	
東北大学医学部附属病院講師	1997.9.1～1997.9.30
ICAT 統括（※2011.3.11 東日本大震災）	2011.3～
岩手県立磐井病院院長	2012.4.1～2020.3.31
岩手県立磐井病院総合診療科長（医療局理事）	2020.4.1～

私のもとではこれが学べる

磐井病院で総合診療外来を担当しています。

- ・原因不明の発熱・浮腫・体重減少など、**診療科が決まらない主訴や病態**の患者
- ・複数の健康問題をもった患者さんへの対応
- ・ニコチン依存症に対する**禁煙外来**
- ・**外科疾患**：甲状腺、乳腺、鼠径部ヘルニア、**肛門疾患（内痔核の日帰り手術）**
- ・成人の**予防接種**
- ・**外来がん薬物療法**（緩和医療科と連携）

教育にかける思い

日本の医療においては、高齢者、肥満・糖尿病・脂質異常症、がんなど、複数の健康問題を持った患者さんに対応するため、「総合診療専門医」を養成し、人数を増やすが必要であると考えます。総合診療は、ざっくりと「病院総合診療」、「家庭医療」、「救急医療」に分けられます。共通点は「臓器・疾患にとらわれずに全人的な医療を提供する」ことです。各病院の総合診療科では、3つの比率がそれぞれ異なり、診療内容は施設ごとにまちまちです。

当院の総合診療科は「病院総合診療」の比重が大きいです。当院では、救急医療は「救急科」が対応しており、「家庭医療」は行っておりません。

磐井病院総合診療科は、複数の健康問題を持っている患者さん、原因不明の発熱や病態不明の患者さんについて院内の各診療科と協力し診療しています。

2020年度より臨床初期研修において1か月間の「一般外来研修」が義務化されました。初期研修医の一般外来研修の一部を総合診療科で担当しています。臨床問題や診断が特定されていない初診患者の外来診療を研修医が、病歴を聴取→身体所見から、臨床推論を行い、計画立案に

至るまでの過程を実地で訓練します。研修医が、患者さんならびにご家族への接遇やメディカルスタッフと協働し、親しまれる医師を育てるように行動しています。

医学生へのメッセージ

地域医療実習が始まり、医学部学生が早い時期から、市中病院で実習するようになりました。実習は将来働く現場を知る上でとても重要であると考えます。

当院に来た学生さんは、総合診療科でも実習します。医学部学生には、Student doctorとして外来患者の診察をしています。また、がん患者さんの苦痛のスクリーニングを自ら経験していただいています。充実した研修ができていると思います。